

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手

9月号
2014



【活動分野】シリーズ（6）
～国際協力～
4ページをご覧ください。

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。
大和市民活動センター[拠点やまと] 第86号 2014年 9月1日発行



「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」作品シリーズ その4
「拡散する夢」

「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」は市民活動団体「ドラマティックカンパニー YAMATO50」が大和市文化振興課と協働事業で実施しています。若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的に、平成 23 年度から実施している公募型のコンペです。「あの手この手」では、来年 3 月号までの表紙に 10 回シリーズで入賞作品を紹介します。



イラスト&メッセージ 南雲 千秋

喜びも、苦しみも、含んで弾けたわたしの夢。空中を漂って、誰かの夢になるといい。町が、みんなの夢で輝くといい。

「センター」のモットー
あの手この手

楽しいことがあるのなら
みんなで一緒に楽しもう
あの手この手で考えて
あの手この手で楽しもう

困ったことがあるのなら
みんなで一緒に解決しよう
あの手この手で考えて
あの手この手で解決しよう

あの手この手の作戦会議
あの手この手で問題解決



10周年記念交流会を開催します

11月22日(土) 13:00~16:00
大和市勤労福祉会館 3F ホール

「センター」設立に関わってくださった方たち、現在も関わっている人たちで思いを共有、交流して市民活動をつなげ、ひろげていきましょう。

当日、センターは休館します

<今月号掲載>

- 「夏休み中高生ボランティア体験」…………… p.2
- 「協働事業提案検討結果」「市民活動の現場から」「ボランティア情報募集」…………… p.3
- 「FM やまと～やまとっ☆みつけた～」 「活動分野シリーズ」 …………… p.4

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

今年は大和市民活動センター設立10周年



夏休みにボランティアやってみよう中高生

このゆびとまれっ！

2014年
感想特集

参加者 中学生：20名 高校生：61名



「このゆびとまれっ！」は中高生の夏休みのボランティア体験を登録団体がサポートします。参加した中高生、体験の場を提供した団体、みなさんの感想の一部をご紹介します。

子育て支援サポーター

日程：7/28(月)・8/4(月)・8/18(月)
内容：子どもとあそぶ活動
人数：中学生2名 高校生10名

最初はとても不安でした。2人の子どもに声をかけてもらってとても楽しく過ごせました。ハプニングがいくつかありましたが感情のままに素直に行動している子どもたちを見て改めて保育士になりたいと思いました。(柏木学園高校 3年生)

ボランティアとは本来、1回りの活動ではなく継続して行うことが意味のあることです。今回の体験はあくまでもボランティアの「おためし」なので、続けられそうな活動は今後も引き続き取り組んでほしいなと思います。ボランティアをする人も受け入れる側にも無理がなく、細く長く続ける活動が真のボランティアです。

(NPO 法人地域家族しんちゃんハウス 松井)

環境保全サポーター

日程：7/26(土)・8/23(土)
内容：引地川のそうじをする
人数：中学生5名 高校生15名

私は川が好きで、ボランティアができてよかったと思う。わりとキレイにみえる川もそうじしてみると、ゴミがたくさんでてきて見かけによらないなと思った。はじめてのボランティアで、いい経験が出来てよかった。(南林間中学校 2年生)

今年はボランティアの受け入れを1回増やして2回の清掃を行い、多くの生徒さんに参加いただきました。夏休みに多くのボランティア体験をされたと思います。良き思い出として終わらず、これからも自分のできる範囲で継続していただきたいと思います。楽しかったです。暑中、そして雨の中、本当にありがとうございました！(引地川水とみどりの会 五味尚生)

障害者支援サポーター

日程：7/28(月)・8/11(月)・8/25(月)
内容：視覚障害者と卓球をする
人数：中学生2名 高校生2名

みなさんが真剣に、そしてなによりとても楽しそうにプレイしていたのが強く印象に残っています。私たちと障害者の方々がみんなまでハンデなく対等に競えるスポーツがあるというのはとても素晴らしいと思います。(柏木学園高校 3年生)

夏休みを利用しての参加(ボランティア)をしてもらい有難うございました。体験をされて視覚障害者の立場を理解してもらい、社会活動の中で福祉に関することを感じていただいたと思います。まず関心を持ち行動に移し体験することにより得た体験を、これからの学習に役立ててください。(サウンドテーブルテニスクラブ 高橋ミヤ)

障害児支援サポーター

日程：7月・8月(月～金)
内容：知的障害児とあそぶ
人数：高校生4名

最初はぎこちなかったけど、最終的にみんなと仲良くなれてよかったです。今日は、1人の子とたくさん遊んでしまったので今度はみんなで遊びたいです。機会があればまた来たいです。(柏木学園高校 3年生)

最初は不安そうな表情でしたが、遊ぶうちに自然などともいい笑顔になり、帰るときには「障害のある子どもも普通の子と同じで楽しく付き合えることがわかりました」と言ってくれました。障害のある子どもや大人を特別な目で見えてしまうことがありますが、気負わなくても気持ちを通じ合わせることができるとわかってもらえたらうれしいです。(NPO 法人サポートハウス ワン・ピース 滝本美智留)

国際交流支援サポーター

日程：7/30(水)
内容：ミサンガ(手足につけるお守り)の袋詰め
人数：中学生8名 高校生15名

ミサンガを300円で売ること、4日分の食量になるということに驚きました。他にもベルマークだったり、ペットボトルのキャップだったりキレイな水がのめるので、スーパーなどの箱に入れて、少しでも協力したいです。(柏木学園高校 3年生)

3食食べられない途上国の子ども達が自らの給食を生み出すために作ったミサンガを、袋詰めして共同で製品に仕上げることで、現地の子どもたちに思いを馳せるきっかけになったのではないかと思います。終了後の感想会では自分が感じたことを発言すること、他の人の感想を皆で共有することで、心のひだに受け止めて頂きたいと思いました。(チーム ピース チャレンジャー 蔵田えり)

芸術・文化支援サポーター

日程：8/26(火)
内容：コンサートの準備・受付の手伝い
人数：高校生7名

素敵な演奏を子どもたちが楽しそうに聴きいているのを見て、参加してよかったと思いました。お母さん方が本当にお子さんを大切に思っているのが伝わり、勉強になると同時に、自分の将来が楽しみになりました。(大和商業高等専修学校 3年生)

幼児とそのお母さんが対象のコンサートでしたが、全員が内容を理解し、それぞれの場で活躍されました。満席で対応が大変でしたが、皆さん笑顔で幼児や、お母さんたちとコミュニケーションをとりながら会場の雰囲気づくりや、見守りをしてくださいました。(大和市芸術文化振興会 小林三夫)

高齢者支援サポーター

日程：7月・8月(月～土)
内容：話し相手・ゲーム等の相手
人数：高校生5名

おじいちゃん、おばあちゃんとお話できてほのぼのして、折り紙の折り方も教えてもらって楽しかったです。ドライヤーもかけさせてもらって大変だったけど経験ができてよかったです。デイサービスでの仕事も今回のボランティアで良いなと思いました。(柏木学園学校 3年生)

デイサービスの利用者は、毎回同じ顔ぶれで過ごす事が多いのですが、ボランティア体験に高校生が訪れ、新鮮な気持ちになりました。将来、仕事を持ったとしても、出来るボランティアはたくさんあります。ぜひ今回の体験を活かして下さい。(デイサービス ハッピー鶴間 石井)

平成27年4月スタートします
協働事業 継続3事業

8月27日(水)、平成26年度協働事業提案検討結果報告会が行われました。提案者、市担当課、市民活動課、大和市民活動センターの4者が集まり、提案された3事業とも協働事業として実施されるという決定が報告されました。下記3事業が協働事業として27年4月から新たにスタートします。

- 大和市・AJAPE プレスクール開催事業 (市民提案型)
- 大和市民活動センター管理運営事業 (行政提案型)
- 文化創造担い手育成事業 (行政提案型)

市民活動の現場から

食のアトリエ 10周年記念 『寮美千子講演会』

地産地消を地域に広げる活動をしている「食のアトリエ」が、8月2日(土)、10周年記念「寮美千子講演会」を開催しました。『食のアトリエ憲章』の起草者の寮さんは、奈良少年刑務所で“社会性涵養プログラム”を担当しています。少年たちの言葉を紡いだ詩集『空が青いから白をえらんだのです』が生まれる背景が語られ、涙する人もたくさんいました。詩を読んで感動した柏木学園高校の濱谷先生が、毛筆で書いてくださった5編の詩を市役所のロビーで事前掲示し、当日会場にも掲示しました。大和映像サロンの山本さんが映像で記録を残してくれました。

市民活動センターのスタッフのみなさんのお陰で大成功でした。ありがとうございました、「食のアトリエ」メンバーの方からの感謝の言葉が届きました。

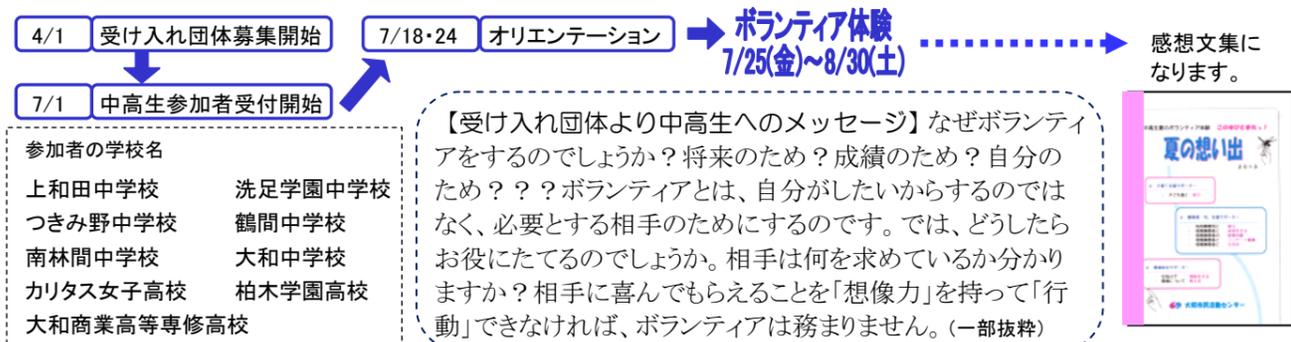
市民活動センターからのお知らせ

『登録団体ボランティア情報』
第5版発行(12月予定)



多くの方にボランティア活動に参加していただくためにボランティア情報を更新します。すでにボランティア情報を提供(市民活動センター利用登録申請書に記載)している団体には、メールなどで連絡いたします。また、ボランティアを募集したい団体はお知らせください。

市民活動課と「拠点やまと」は、高校生からおとなまで、ボランティア活動への参加を応援するため、協力して事業を行っています。



「このゆびとまれっ！」担当者より

今年度の「このゆびとまれっ！」には中高生90名以上の参加申し込みがありました。8団体のボランティアメニューの中から、自ら選んだボランティア活動に延べ81名が熱心に参加し「学校や家庭では経験できないことや、貴重な話が聴けました。」と誇らしげに報告してくれました。炎天下や途中で雨が降りだしたりハプニングがありましたが皆笑顔でスタッフの指示に従っていました。中高生が、ボランティア活動の一步を踏み出せたことを、受け入れ8団体に感謝いたします。(櫻井)

